

PAOLA LENTI

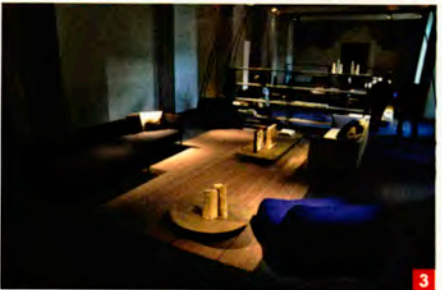
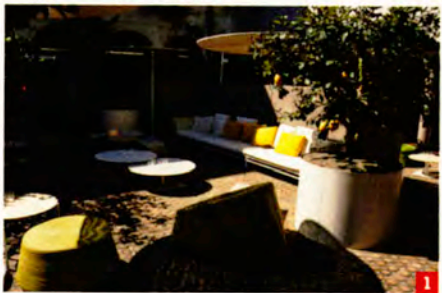
独自の色彩の世界を創出。アウトドアのリーディング・ブランド

グラフィックデザイナー出身のパオラ・レンティが、1994年にミラノで設立したPAOLA LENTI。近年のアウトドア家具ブームの先駆けともいえる。独自に開発したファブリックは、屋外用としての機能と耐久性に加え、豊富なカ

ラーバリエーションで世界中で人気を博している。昨年に引き続き、修道院だった建物を会場に「In the Key of Colour」というテーマでみごとな色彩の世界を展開した。今年は室内家具にも力を入れ、多くの新作を提案した。

1レモンやハナミズキなど、ファブリックの色に合わせた植栽が随所に置かれていた。心憎い演出。2金属製の重りが入っているクッションを自由に置いて、好みのスタイルにできる室内用新作ソファ「Ribbon」。3左のソファは新作「Kimono」。室内用、日本の着物のように、縫製する箇所を減らしたというデザインはフランチェスコ・ロータ。この展示では、「素材の追求」という共通項のもとにミラノの陶芸家グイド・デ・ザンの繊細なテクスチャーを持つオブジェのような作品が展示された。

<http://www.paolalenti.it/>



4メインの中庭を飾ったのは色とりどりのスウィングシート。右は、エドワード・ヴァン・フリートによる新作「Swing」。左は「WABI」のスウィングバージョン。

5「NIDO」シリーズのアームチェア。同系色の組み合わせも色味の差異が美しい。6手前のラグは新作「Siepe」。何色もの糸が織り込まれて微妙なニュアンスが生み出される。7プランターなどの小物も実に豊かな色が並ぶ。カラーバリエーションは約500トーンもあるという。

